

3 月 3 日 (木)、若林区文化センターにおいて 1・2 学年の代表生徒による最終口頭発表会が行われました。今年度の SSH 学術研究の集大成として各発表の要素と感想を中心にお伝えします。

## 《発表内容》

発表会終了後、発表者の方々から頂いた感想を掲載します。

### ① 『高齢者の自立と共生』(家庭科ゼミ)

「加齢体験に基づく衣類の制作」というテーマで研究発表を行いました。

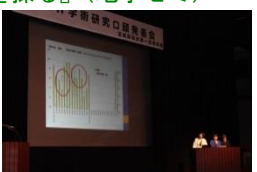
家庭科ゼミは今年度から創設されたゼミだったので、前例がなく不安な気持ちもありましたが、色々な人の協力によって 1 年間研究を行うことができました。



### ② 『ダストトレイルと流星の関係を探る』(地学ゼミ)

地球がダストトレイルを通過した時に、流星群が極大を迎えるという仮説を立てて、ペルセウス座流星群の観察を行いました。

発表することも他のゼミの発表を聞くことも楽しくて、有意義な時間を過ごせました。流星群に興味をもってくれた方はぜひ実際に観測してほしい。その際は寝ることがないように…

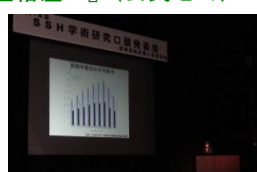


### ③ 『男女平等社会といえるか』

#### —ジェンダーと賃金格差—(公民ゼミ)

職階においてジェンダーによる差別意識が存在し、キャリア重視の社会体制が女性が昇進できない理由となっていることが分かりました。

示すデータの数が多かったため、簡潔な流れを心がけました。緊張はせずに楽しく発表できました。生徒からの質問が沢山きて嬉しかったです。



### ④ 『自生する遺伝子組換え作物の実態調査』(生物ゼミ)

遺伝子組換え作物の自生実態を 3 年間のデータを比較することにより調査しました。

自分のベストを出し切ったとまではいきませんが、それなりに良く出来たと思います。多少思う所もありましたが、充実した発表となったのではないかと感じました。



### ⑤ 『とおoryんせの舞台は何処?』

#### —歌詞から見る発祥の地—(国語ゼミ)

現存する歌詞からわらべうた「とおoryんせ」の発祥の地を調べました。

緊張しましたが全校生徒の前での発表という貴重な体験をすることができました。今まで担当の先生方に相談したり、大学の先生にお話を伺ったりした集大成として、納得のいく発表ができたと思うので良かったです。



### ⑥ 『PSM への挑戦』

#### —めがせ!ポケモンしりとりマスター—(情報ゼミ)

ポケモンしりとりマスターになるためのプログラムを作成しました。

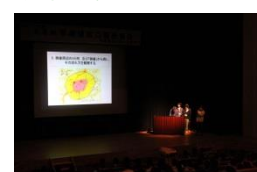
テーマ設定の時点でネタ勢という事で、発表前から先生に怯えつつの発表でしたが、終わってみると意外にも先生方に好評で良かったです。この機会にポケモンしりとりを流行らせていきましょう。あとポケモン 20 周年おめでとう!!



### ⑦ 『蔵王連峰噴火時火砕流の被害』(1 年災害研究)

私たちは県が作成したハザードマップの内容に疑問を持ち、検証した結果、ハザードマップとは異なった被害状況となる可能性があることを証明しました。

唯一の 70 回生の発表で緊張しましたが、最終的には自分が伝えたいことをしっかり伝えることができ納得のいく発表ができました。



### ⑧ 『評価されるミュージックビデオとは』(音楽ゼミ)

私たちの研究は、音楽アーティストのミュージックビデオを通して、現代の音楽業界の変化を探るというものでした。

研究は予定通りには進まず、当初の目標には届きませんでした。もう少しゆとりを持って進めていければ、というのが反省ですが、普段目にする MV でも、こういった学術的な視点から見ることは今までなかったため、改めて MV の奥深さに気づかされました。



### ⑨ 『カプレカ数の発展』

#### —各位の数字を組み替えてできる最大値と最小値の差—(数学ゼミ)

研究の大まかな内容は、法則の有無を確認するためにひたすら計算するというものです。

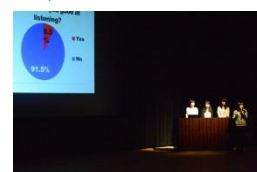
膨大な数を扱うことは沢山の時間を要するととても大変な作業で、正直面倒くさいものでした。しかし法則を発見したときはこれまでにない感動を味わうことができ、また発表の際には優越感と達成感を同時に味わえました。1 年生にもやるからには精一杯努力して頑張りたいです。やればやっただけ貴重なものになります!



### ⑩ 『Improvement of Listening』(英語ゼミ)

リスニング能力を上げるためには、ただ CD を聞くだけか、ディクテーションを取り入れた方が良いのかを調べました。

結果はディクテーションを取り入れた方がより効率的にリスニング能力を上げることができるという事が分かりました。英語でプレゼンをするのは初めてで大変なことが沢山ありましたが、今まで協力してくださった皆様にこの場を借りて感謝申し上げます。



⑪『リモネンの性質と利用可能性』(化学ゼミ)

各種香料の発泡スチロール溶解性能について発表しました。データ不足など至らない点もありましたが、自分たちなりに良いプレゼンテーションを行えるよう努力することができ、良い経験になりました。聞いてくださった皆さん、ありがとうございました。



⑫『おにぎり vs 「10秒メシ」』(保体ゼミ)

いろんなゼミの発表が聞けて面白かったです。原稿を見ずに発表している人もいてすごい!と思いました。やはり暗記して発表している人やグループの印象は良かったと思います。総合的に聞きごたえのある発表ですごく楽しかった。



⑬『Direction-Dependence of Cosmic Rays by Observing Air Shower』(物理ゼミ)

私たちの班では、「宇宙線の方向の依然性の観測」という内容を英語で発表しました。至らない点が多く内容の大半が聞き手の方々に伝わらないという結果でしたが、自分たちの力を大きな舞台で試すことができ、とても貴重な経験となりました。



⑭『ジャンヌは「魔女」か』(地歴ゼミ)

緊張したけど何とか頑張ってよかったです。かなり良い経験になりました。これからの人生においてもプラスになると思います。Yes! 学術!



《運営指導委員の先生方からの講評》

・東北大学電気通信研究所 教授 枝松圭一先生

プレゼンテーションに工夫をし練習を重ね、素晴らしい発表をした生徒が多くいました。また人文科学・社会科学の分野での発表も素晴らしく、普通科の高校がSSHに取り組んでいる成果の大きな部分だと思えます。



枝松圭一賞…『カプレカ数の発展 -各位の数字を組み替えてできる最大値と最小値の差-』(数学ゼミ)

・京都大学エネルギー理工学研究所 教授 木村晃彦先生

様々な教科の発表を聞くことができるとも楽しむことができました。ユニークな発表の仕方も多く、あんな発表の仕方もあるんだなと感心しました。SSHの活動は「専門性を高める」という意味で非常に良い機会だと思います。良いところはどんどん伸ばして行って下さい。



木村晃彦賞…『男女平等社会といえるか -ジェンダーと賃金格差-』(公民ゼミ)

・慶應義塾大学 名誉教授 清水浩先生

この3年間でどんどん内容が良くなっていて、世界に通用するプレゼンでした。なので、これからの進路として、世界の名立たる大学に進学する実力があると認識したうえで大学以降の進路を考えてほしいです。



清水浩賞…『とおoryゃんせの舞台は何処? -歌詞から見る発祥の地-』(国語ゼミ)

・東北大学大学院理学研究所 教授 須藤彰三先生

3月19日~22日開かれる日本物理学会のジュニアセッションに参加するゼミの皆さんは、更に勉強をして発表に備えてほしいです。



須藤彰三賞…『Direction-Dependence of Cosmic Rays by Observing Air Shower』(物理ゼミ)

・東北大学電気通信研究所 教授 鈴木陽一先生

一高生らしく全国水準・世界水準の発表が多く、ほとんどの発表がしっかりと「科学」して研究になっていてとても感心しました。発表を更に良いものにするためには①数値を求めたら平均と標準偏差を求めること ②質疑応答をより活発に行うこと の2つです。



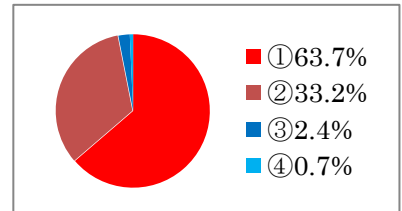
鈴木陽一賞…『蔵王連峰噴火時火砕流の被害』(1年災害研究)

《アンケート結果》

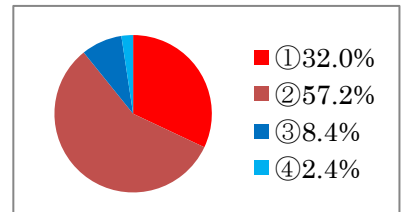
発表会後に回収したアンケートの結果をお知らせします。

- ①よくあてはまる
- ②あてはまる
- ③あまりあてはまらない
- ④全くあてはまらない

Q総合的にこの発表会に満足したか



Q総合的に学術研究に満足したか



《編集後記》

この最終口頭発表会は1年間の集大成となる有意義な会であったと思う。1年生は来年度更に素晴らしい研究を行ってほしい。2年生は学術研究を通して得た知識を大学だけでなく様々な場面で生かしていけたらよいと思う。



最後にこの1年間様々な場面で関わって下さったすべての皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。(学術研究委員会)